

令和5年度(2023) 広重賞 第20回恵那市こども版画コンクール

■お礼のことば

「広重賞 第20回恵那市こども版画コンクール」作品展が今年も開催できますことに感謝申し上げます。恵那市内のこども園・保育園、小中学校、特別支援学校の皆さまが、限られた時間の中で工夫を重ね、表現した作品を中山道広重美術館で展示公開させていただきます。ご多用の中、園や学校で、ご指導いただいている先生方のご努力に心から感謝申し上げます。

また、ご後援いただきました(公財)恵那市文化振興会、恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那市商店街振興組合、(一社)恵那市観光協会、恵那市小中学校校長会、明知鉄道(株)、(公財)日本大正村、恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、(一社)恵那青年会議所、その他関係者各位のご支援に対し、重ねてお礼申し上げます。

■版画コンクールについて

当コンクールでは、審査のポイントとして、以下の点を挙げています。

1) 子どもの発達段階を踏まえた作品か。作者の素直な心が込められた作品か。

2) 課題(『わたしの生活とふるさと』)に沿った作品か。

「わたしが大好きなもの・ことを表現する」「わたしが学校や日々の生活の中で見つけたこと」
「ふるさとの風景」「身近にあるふるさとの文化」

3) 版画ならではの良さ(造形性)を感じさせる作品か。

4) 今後の“可能性”を感じる作品か。

5) 以下の三つが認められるか。

- ・題材をにつめる努力(ねうちを探す)
- ・どんな形にするか(説得力のある構図)
- ・技の工夫をする(道具をうまく使う)

6) 規格(最大サイズ:四つ切~最小サイズ:はがき大)を守っているか。

なお、課題はあくまで版画制作にあたる上での大きなテーマであり、課題ありきではなく、作品を作った子どもの発想を尊重しています。また、たとえ技術的には多少稚拙であっても、子どもの素直な心が読み取れる作品を見定め、選出することを心掛けています。さまざまな解釈ができる作品については、審査員全員で話し合い、評価をしています。

■審査会を終えて

審査会は去る1月29日(月)、武並コミュニティセンターで実施しました。出品作品のレベルが年々上がり、審査員の一人として厳しい判断を迫られる審査でした。今回一番印象に残っていることは、「ドライポイント」の作品が出品されてきたことです。「ドライポイント」とは、版にキズをつけて形象を表現する凹版技法。指導者や授業時間が限られる中で、このような作品が出品されたことに、開催20回を迎える当版画コンクールの未来を感じました。

(文責:恵那市こども版画コンクール実行委員会)



第20回
広重賞恵那市こども版画コンクール
広重賞作品展

第20回広重賞受賞作品「レトロな廊下」(岩田中1年生)

主催：恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館
 後援：恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那市商店街振興組合、(一社)恵那市観光協会、(公財)恵那市文化振興会、恵那市小中学校校長会、
 明知放送(株)、(公財)日本大正村、恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、(一社)恵那青年会議所

2024(令和6)年
会期 2月29日(木) - 3月17日(日)
 中山道広重美術館展示室2(2F)
 ※この展示に限り観覧無料
 ◎ご来館の際は受付にお声がけください。

同時開催
 企画展 2月29日(木)～3月31日(日) **お江戸浮世絵プロデューサー** 展示室1(1F)
 ●この企画展には観覧料が必要です：大人 520円(20名以上の団体は 420円) ▲18歳以下、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

中山道広重美術館
 〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1 TEL.(0573)20-0522 FAX.(0573)25-0322
 HP <https://hiroshige-ena.jp>

広重賞 第20回恵那市こども版画コンクール

入賞・入選数：特別賞 20点、奨励賞 28点、入選 124点 (総出品数 2,294点)

作品展：2024年2月29日(木)～3月17日(日)

中山道広重美術館 展示室2(2F)

表彰式：2023年3月3日(日) 午後1時00分～、1時40分～(2部制)

中山道広重美術館 講座室(3F)

広重賞

「レトロな廊下」
岩邑中学校 1年



思い出が幾重にも重なって、作者はこの廊下を作品にした。その個性豊かな心が、版画作品を通して鑑賞者に心地良く伝わってくる。一点透視図法による構図や、日常の何気ない光りに映し出される天井、教室の表示にまで配慮した作品作りが、思い出を物語りにした。表現には細やかな配慮があり、限られた色彩や構図の中に、場の持つ空気さえ感じさせてくれた。学びの多い木版画作品だ。

恵那市長賞

海で一番巨大なカメ
大井小学校 3年



思いと迫力はくりよくのある作品です。まずは、右下から左上に向かう対角線構図こうずにしたことです。次に、紙の大きさをか変えて貼るはことにより、ウミガメの独特の皮膚どくとく ひふ ひょうげんが表現されています。また、甲羅こうらは皮膚よりも大きく切った紙を使うことで、区別くべつすることができます。そして、目線を進行方向にしたことです。このカメが強い気持ちで泳いでいることが伝わつたってくるのです。しかも、嬉うれしそうなのです。

恵那市議会議長賞

くじらの逃避行

明智中学校 1年



目を引くのは、白黒バランスの画面分割の^{うま}巧さである。木版画特有の重要な要素が、まるで計算されたかのように感じる。反り返った斜めのくじらは、これから先の自由を得たかのように喜びを表現し、ウミガメ達はフレンドリーに行き来し、動きを増幅させている。顔を見せていないくじらが出会う水面上の世界は黒で暗示し、太陽や鳥は見えても、何故か未知なる想像を掻き立てる。^か横波や水しぶきは繊細な糸曲線を効果的に配置し、作者の心象を組み入れた美しい作品に仕上げている。

恵那市教育長賞

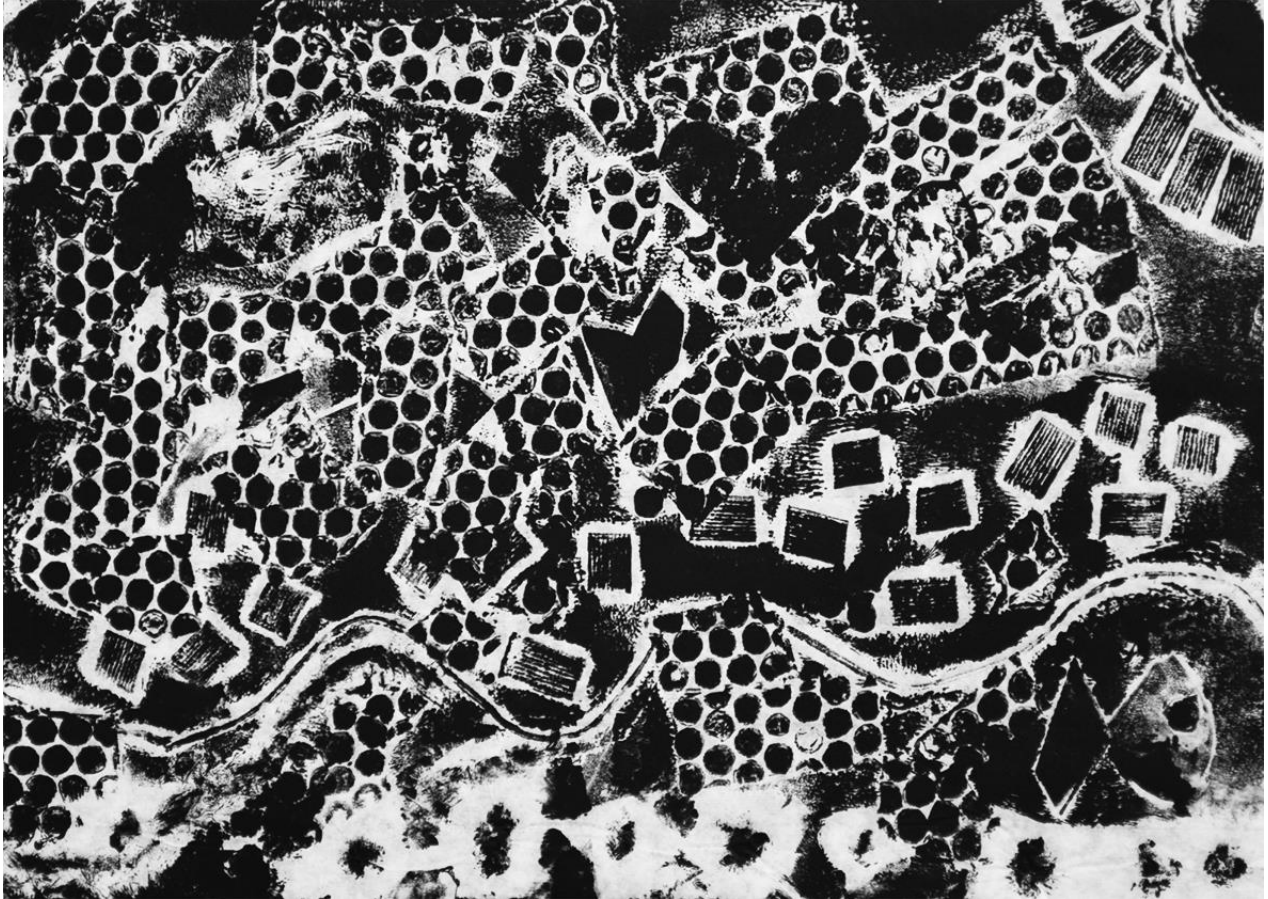
魚におびえる蟹
上矢作小学校 6年



版画であるが、捉え方が写実的で物語性がある。水中で魚におびえる蟹の姿がよくわかる。威圧的な魚の目の表情が良い。色彩が豊富できれい。水の表現も多彩で良い。近くの岩と遠くの岩の色を違い、近くの色が濃い空気遠近法この使用も見事である。次回作が楽しみである。

SDGs 賞

かわいさかな
大井第二小学校 1 年



がめん は かたち まる いんしょうてき さくひん ひかり
画面いっばいに貼られたいろいろな形の丸いつぶつたちがい印象的な作品。光の見え
方が、丸と四角を使い分けて表現されています。緩やかな曲線で表現された海と空のバ
ランスもよく、さんさんと輝く太陽の下で、かわいい魚が暮らす、きらきらと光り輝く
海の様子が伝わってきます。

中山道広重美術館館長賞

ぜったい とられない！

岩邑小学校 3年



目の前に来たボールを取ろうとする作者。そのボールを奪おうと、後方から伸びる敵の2本の手。画面をいっぱいに使ったボールを追う動きと、指の節々まで表現した手が、圧倒的な躍動感と迫力を生み出しています。小学校3年生のボールゲームといえば、ポータボールでしょうか。摺りがしっかりしており、顔の表情からも作者の燃える心が伝わってきます。

第 20 回記念賞

名所江戸百景 深川洲崎十万坪
～歌川広重から学ぶ～
上矢作小学校 5 年



まずは、歌川広重による原図（右図）を^{らん}ご覧いただきたい。
^{しっちたい} 湿地帯・^{じゅうまんつぼ} 十万坪をワシの^{してん} 視点から^{とら} 捉え、^{つくばさん} 筑波山を遠望している。

さて、受賞作品は、原図のワシと山容に^{しょうてん} 焦点を当てている。
配色の^{へんこう} 変更や羽根の^{たんじゆんか} 単純化なども見受けられ、単なる
^{もしや} 模写ではないことに気付かされる。先行図版の参照・再構成
は、広重も行っていた手法であった。「歌川広重から学ぶ」
ことで、広重の^{ほりし} 絵作りや^{すりし} 彫師・^{ぎこう} 摺師の技巧を体感できたのではないだろうか。



歌川広重「名所江戸百景 深川洲崎十万坪」
安政 4 年(1857)閏 5 月 大判錦絵
中山道広重美術館蔵(吉村コレクション)

恵那市文化振興会会長賞

おいもたべたら おならがぷーってでちゃった
東野こども園



おおきな おくちで おいもをたべている かおが とても かわいく ひょうげん
できています。「うで」、「て」が しっかり できていて、こうずも うでが が
めんに おさまるように ななめに はんを おいていて、くふうのあとが 見られます。
すりも きれいで、ねんちゅうさんと おもえないほど よい さくひんです。

恵那商工会議所会頭賞

ゆずとるの大へんだなあ

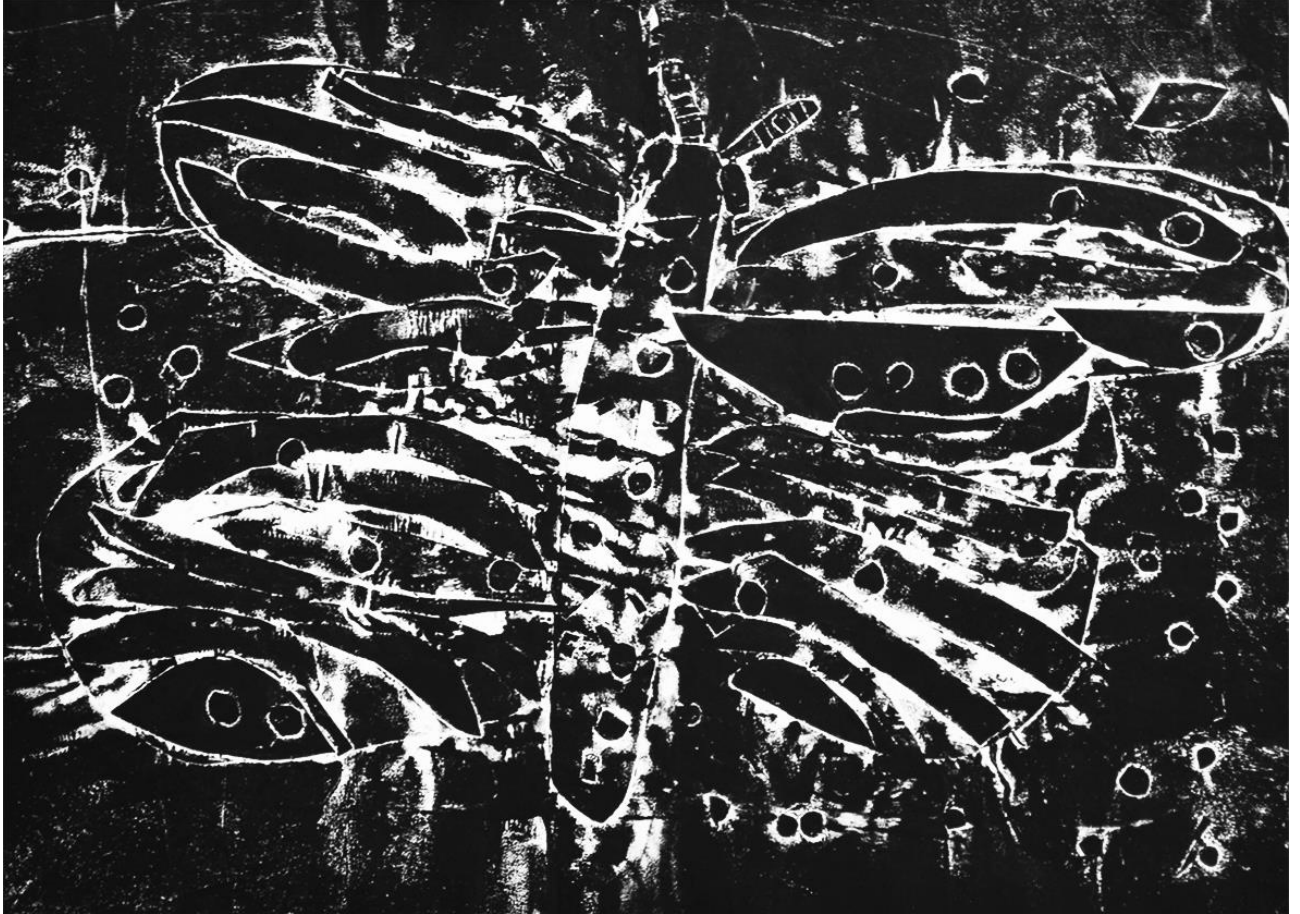
恵那北小学校 3年



画面いっぱいの大迫力。ゆずの色を彷彿^{だいはいくりよく}とさせる色のバランスがとても瑞々しく、重なりが美しいです。ゆずの木にはとげがあり、高枝切りバサミでの収穫^{たかえだき}の大変さが表情^{しゅうかく}に出ています。収穫したいゆずへの思いが込められており、後ろのゆずとの違い^{たいへん}を工夫^{ひょうじょう}して、変化^{ちが}をつけています。コンクールの課題である「私の生活とふるさと」に沿った作品であり、地域^{くふう}を思い出させ、日々の生活の姿^{かだい}からも、大好きなふるさとを感じる事ができる作品です。

恵那市恵南商工会会長賞

ひかりのなかに とんでいく ちょうちょ
山岡こども園



ひかりのなかを ひらひらと とんでいる ちょうちょの ようすが よく あらわれている さくひんです。 ちょうちょの はねのもようが くふう されています。はさみを うまく つかって、 ほそながい ぶぶんをつくり、 むきを かんがえて も ように なるように はっています。 ちりばめられた まるの つぶが アクセントになって、 がめん ぜんたいが ひかりのつぶで いっぱい になっているようです。 ちょうちょと であった かんどうが つたわってきます。

恵那市商店街振興組合理事長賞

玉入れ「どんぐり玉百点入れ。」

串原小学校 2 年



学校の^{うんどうかい}運動会玉入れの様子と題したことで、表現したい内容が見る側に自然に理解できる作品です。

画面の下4分の3を使って表現した構図は、余白部分の使い方も併せて小学2年生らしからぬでき映えとなっています。さらに大きく手を広げた^{すがた}姿から作品名のごとく、数多くの玉入れができたことを^{そうぞう}想像させます。

紙版画特有の紙のちぎり方も上手く自然に表現できており、この作品の^{はくりよく}迫力が^{つた}伝わってきます。

恵那市商店街振興組合理事長賞

牛乳たくさん飲んで どんどん成長だ

東野小学校 5年



画面のやや右側に頭部が配置されていながらも、表情の中心となる目、鼻、口が中央にくる構図がとても良い。そして、その表情からは、大好きな牛乳ぎゅうにゅうを味わいながらも、大きく成長していくんだという作者の思いがよく伝わってくる。牛乳パックを大切に包む左手と、ストローを持つ右手のそれぞれの指が上手く表現できている。

また、顔と指、衣服と頭髪とうはつと背景との白と黒とのバランスがとれた作品である。

恵那市観光協会会長賞

しあわせフクロウ

岩邑小学校 4年



「みんなに幸せを伝えよう」と思いを込めた岩村商店街フクロウ。作者は、幸せの青い鳥をイメージして絵具でいろいろな青を作りました。初めての彫刻刀は丸い所を彫るのに苦労し、摺りでは紙に色が写らなくて絵具の濃さを一生懸命考え、何回も色を重ねました。画面いっぱいの迫力あるフクロウは、羽根の細かな彫りや見開いた目、作品全体に見られる色の美しい濃淡など、丁寧な作業の積み重ねで素晴らしい作品になりましたね。

恵那市観光協会会長賞

提琴の聲

中野方小学校 6年



バイオリンを、一心に弾く緊張感や真剣さが伝わってくる。丁寧に彫り込んでいるため、顔や指の細かい線と白い肌とで、白黒のメリハリがある見事な作品となっている。バイオリンの上達を目指して日々努力している姿勢とともに、「納得のいく版画にしたい」といった強い気持ちを感じる。また、作品名にある「提琴」、「聲」からは、バイオリンを愛おしむ心も感じられる。作者の思いが込められた、素敵な作品である。

恵那市小中学校校長会会長賞

スイミーをおいかける ジンベエザメとカニ
長島小学校 2年



大きな体が小さくなっていく…。スイミーをお^お追いかけて、どんどん遠くへ行ってしまったジンベエザメ。そのジンベエザメに追いつこうと、思いっきり脚^{あし}を伸ばし、必死^{ひっし}で前に進むカニの姿^{すがた}には、圧倒的な迫力^{あつとうてき}と存在感^{はくりよく}があります。音のない静かな海の中。「待て待てー、絶対^{ぜったい}に追いついてやるぞー」とハサミを上に向けて叫ぶカニを、サンゴや海藻、海の生き物^{もの}たちが「頑張れー」^{がんば}と応援^{おうえん}する、そんな声^{こゑ}が響き渡^{ひびわた}っているようです。

明知鉄道社長賞

ドッカーン

串原小学校 3年



風船がドッカーンと破裂して、作者が驚いているのがよく分かりますね。良いと思えるところは、両手を大きく広げている、目が大きくなっている、口を開いている、全体的に、紙いっぱい描いてあるところです。そして手が白く抜いてあり、周りが黒だから作者の体がよく分かります。メガネもよく描けています。

日本大正村理事長賞

あやとびが できるようになったよ
上矢作小学校 2年



あやとびを上手く跳ぼうと、頑張っているところを紙版画の技法を使って表現したので
すね。作者のわくわくする気持ちや、緊張感が見る人によく伝わってきます。うまく収め
ようと構図にとらわれてしまいがちですが、伝えたいこと、表現したいことを勢いよく描
いた結果、足が少し窮屈にはなりましたが、頑張っている姿が伝わってくる素敵な作品
になりました。

恵那ライオンズクラブ会長賞

かっこいい ししまい

飯地こども園



がめんの まんなかに おおきく えがかれた そんざいかんのある 「ししまい」が
いんしょうてきです。「ししまい」の「め」や「はな」、いっぽんいっぽんかたち
をかえてある「は」、ながれるような「かみのけ」など、ていねいに つくら
れています。はいけいに 6つある もようも ひとつひとつ かたちが ちがって
いて とても きれいです。いろの くみあわせも、はいけいの みどりいろと だいし
の あかいろが とても きれいです。

恵那ロータリークラブ会長賞

つりあそび「おっ、タコがつれたぞ！」

串原小学校 2年



つり上げたタコが、勢いよく作者の顔に飛び込んでくる瞬間が描かれます。ピンと張ったつり糸や体をのけぞらせるような動きから、その一瞬の緊張感が伝わってきます。紙版画で作られた本作品は、丁寧に版が作られ、よく考えて配置されています。驚きで上がったまゆ毛や見開いた目、大きく開けた口からのぞく歯の1本1本まで作り込まれ、作者の豊かな表情がよく表されています。

恵那青年会議所理事長賞

きれいな歯

大井第二小学校 5年



「きれいな歯」と題された本作品は、給食後の^{はみが}歯磨きの様子をとらえたものだろう。歯ブラシを縦^{たて}にして、前歯の歯間を入念に磨き上げている。歯間の^{よご}汚れは丁寧^{ていねい}に磨いて取り除^{のぞ}かなければ、虫歯のリスクをより高めてしまう。口内をよく確認しよう^{かくにん}と鏡に近づき、あごを少し上げている様子がよくとらえられている。まっすぐ見つめるその目も真剣^{しんけん}そのものだ。また、しっかりと彫^ほられた髪^{かみ}の毛や輪郭^{りんかく}、丁寧に色付けられた版により、良いメリハリを生んでいる。

※選評について

作品に添えられた選評は受賞者の年齢に応じて、ひらがな表記またはルビ表記をしています。